



令和8年3月1日現在(前月比) 人口/242,164人(-266) 男/115,252人(-123) 女/126,912人(-143) 世帯数/122,537世帯(-76) 面積/191.52km²

令和8年度当初予算の概要をお知らせします

令和8年度当初予算は、『守る』をテーマに、防災対策・子ども子育て支援・健康づくり・環境保全など市民の暮らしを守る施策を中心に、阿波おどりや眉山など守るべき独自の文化や歴史を活用した、魅力あるまちを創出するための施策に重点を置き編成しています。

市民を『守る』主な取り組み

新規 災害から守る

▶ デジタルハザードマップ整備事業 …555万円

住民などの迅速かつ確かな避難行動を支援するため、位置情報による避難所・避難場所までの経路検索や、多言語対応が可能なデジタルハザードマップを整備します。



▶ B & G海洋センター体育館等空調設備整備事業 …1億6,726万円

補助避難所に指定しているB & G海洋センター体育館および武道館に空調設備を整備します。



拡充 子ども子育て世帯を守る

▶ 幼児健康診査事業…2,039万円

現在、1歳6カ月児と3歳児を対象に無料で実施している健康診査について、令和8年度から新たに5歳児を対象に加え実施します。



新規 ▶ 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)…629万円

0歳6カ月から満3歳未満の保育園などに通っていない子どもを対象に、月10時間の範囲内で、保護者の就労要件などを問わず、保育園などに通園できるこども誰でも通園制度を実施します。



新規 健康を守る

▶ 妊婦歯科健康診査事業…432万円

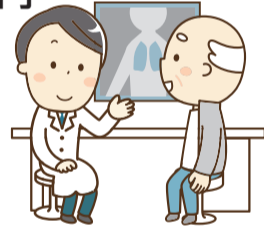
ホルモンバランスの変化やつわりなどでの口腔内環境の悪化による早産や、低出生体重児出産のリスクの上昇を予防するため、妊婦に対して無料で歯科健康診査を実施します。



拡充

▶ がん検診事業…1億9,727万円

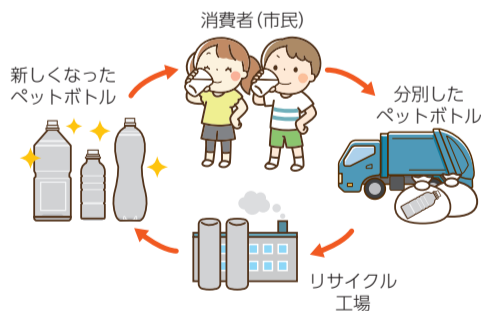
死因1位であるがんの早期発見、早期治療を目的にがん検診を実施します。令和8年度はがん検診の受診率向上に向けて、積極的な受診勧奨や新たに大腸がん検診の無料化を実施します。



新規 環境を守る

▶ 資源物再資源化事業(ペットボトル水平リサイクル) …3,061万円

新たなペットボトルを作る水平リサイクルを目指すため、4月からペットボトルの単独収集を行い、収集した使用済みペットボトルの品質を落とさず再商品化事業者へ引き渡します。



守るべき文化・歴史を生かしたまちづくり

▶ 阿波おどり会館LED景観整備事業 ▶ 阿波おどり会館前広場整備事業 …1億2,999万円

阿波おどり会館の更なる魅力向上を図るため、阿波おどり会館の外観照明のLED整備や、会館前広場を観光バス駐車場とイベントスペースなどに再整備します。▲阿波おどり会館LED(イメージ)



令和8年度予算については、2・3面にも掲載しています。
【問い合わせ先】財政課(☎621-5045 FAX623-8121)

令和8年度当初予算は、総合計画に掲げる3つの基本理念のもと、「守る」をテーマに編成いたしました。近年、自然災害の激甚化や少子高齢化の進行、物価高騰など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しております。こうした時代の転換期にあつてこそ、市民の皆さんの命と暮らし、そして徳島市の将来を着実に守り抜く施策を推進してまいります。

防災分野では、デジタルハザードマップの整備により迅速な避難行動を支援するとともに、職員の防災士資格取得を進め、防災に関する組織力を一層高めてまいります。さらに、避難所の環境改善など、災害時における生活の質の向上にも取り組めます。

また、阿波おどりや眉山といった徳島市独自の資源を最大限に生かし、

魅力あるにぎわい空間の創出と交流人口の拡大を目指します。

さらに、資源循環の促進と脱炭素化をより一層進め、持続可能なごみ処理体制の構築と環境負荷の低減を確かな形として推進することで、次の世代へつなぐ責任あるまちづくりに取り組むとともに、子ども・子育て支援の充実、教育環境の改善、予防を重視した健康づくりの推進など、未来への投資を着実に進めます。

子どもからお年寄りまで誰もが自分らしく躍動し、誇りを持って住み続けることができる笑顔の絶えないまちづくりに、全力で取り組んでまいります。



徳島市長 吉田 達彦